

編集後記

前から一度編集後記を書いてみたかったのですが、いざ機会をいただくと、諸先生方の様に含蓄ある話をしようか、敬愛する先輩の様に猫の話でもしようか、目移りします。うちの子どもたちとのやり取りから感じた「乳幼児期子育ての教訓」も捨てがたいですが、編集委員会とも関係がある「並列計算と会議」という話をしましょう。

並列計算のコストは計算ノード数と実行時間の積である「ノード時間積」という単位で表されます。コストを抑え、並列計算を効率化するための第1の指針は並列化率を高めることです。処理全体の内、並列実行できる部分の割合を並列化率 α と言います。逆に言えば残りの $1-\alpha$ は並列実行できない部分ですので、その間は多数のノードは待機しており、効率が落ちてしまいます。並列実行できない部分を丁寧に除去し、並列化率を1に近づけることが必要です。第2の指針は粗粒度の並列化です。並列処理では必ずノード間のデータ通信や同期待ちが生じます。こうした並列化に伴って生じる無駄を減らすには粗

粒度の並列化、つまり、ある程度まとまった仕事を分担して処理し、ノード間のやり取りは最小限にした方がよいです。スーパーコンピューティングでは、その他にも様々な工夫を施しつつ、新物理の開拓という目標の達成をめざします。

会議は目標とする業務や意思決定のために行うわけですが、会議時間を短くするための事前準備（並列実行できない部分の除去）を入念に行い、少人数で意思決定できる部分はなるべく個別化（粗粒度の並列化）するなどして、会議では全体での対話が必要な部分のみ短時間で集中的に議論した方が、結果的に「人数時間積」というコストを抑え、最終目標の達成が近づくように思います。

その点、学会誌編集委員会会議は事務局や幹事会を始めとする委員の皆さんのご尽力で、テキパキと進行して素晴らしいです。私の至らない編集委員活動も皆さんに支えていただいたおかげで何とか2年間務め上げました。どうもありがとうございました。

(前山伸也)

プラズマ・核融合学会 役員

会 長	竹入康彦			
副 会 長	上田良夫 (研究部会連絡会委員長)	米田仁紀 (推薦委員長: 研究助成, 男女共同参画委員長)		
常務理事	市口勝治 (総務委員長)			
理 事	渥美寿雄	出射 浩 (編集委員長)	井 通暁	大勢持光一 (財務委員長)
	大原 渡	金子俊郎	村上 泉	横峯健彦 (年会運営委員長)
	木戸修一	兒玉了祐 (企画展示検討委員長)	白藤 立 (企画委員長)	花田磨砂也 (推薦委員長: 学会賞)
	林 伸彦 (広報委員長)	藤田隆明	渡邊隆行 (支部・地区研究連絡会委員長)	
監 事	立松芳典	前田達志		

プラズマ・核融合学会 領域長

基 礎 井 通暁(東大) 応 用 渡邊隆行(九大) 核融合プラズマ 藤田隆明(名大) 核融合炉工学 上田良夫(阪大)

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ: 出射 浩(九大) 副委員長: 村上 泉(核融合研)
エディタ: 古閑一憲(九大), 比村治彦(京都工繊大), 波多野雄治(富山大), 重森啓介(阪大), 藤田隆明(名大), 村上定義(京大)
編集委員: 安部勇輝(阪大), 諫山翔伍(九大), 市原大輔(名大), 井戸 毅(九大), 占部継一郎(京大), 枝尾祐希(量研), 大宅 諒(九大), 勝川行雄(国立天文台), 川手朋子(核融合研), 佐久間一行(弓削商船高専), 佐々木渉太(東北大), 佐藤直木(東大), 神藤勝啓(原子力機構), 鈴木陽香(名大), 關 良輔(核融合研), 高橋宏幸(東北大), 竹崎太智(富山大), 田中 学(九大), 辻井直人(東大), 中村 誠, 畑 昌育(量研), 福本正勝(量研), 藤原 大(UCI), 前山伸也(名大), 森田大樹(宇都宮大), 矢嶋美幸(核融合研)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第99巻第6号

編集・発行
〒464-0075 名古屋市中種区内山3丁目1-1 4階 印刷 株式会社荒川印刷
一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会 2023年(令和5年)6月25日
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485
E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: <https://www.jspf.or.jp/> 定価1,430円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。